

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2192100135		
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター西濃		
所在地	岐阜県大垣市橋町2丁目9番1		
自己評価作成日	令和2年11月9日	評価結果市町村受理日	令和3年1月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kai.gokensaku.nhi.w.go.jp/21/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&i_gyosyoQd=2192100135-00&ServiceQd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市橋町1丁目3番地		
訪問調査日	令和2年12月16日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様お一人おひとりが明るく楽しく生活できるよう心がけています。ご利用者様の有する能力を考慮して自立支援の為、食事作りに加わって頂くなど、機能訓練活動などを日常生活上で行っていきます。また、ご利用者様の能力が最大限発揮でき生活意欲が引き出せるよう、ご利用者様の趣味・嗜好に合わせた多様なアクティビティ(ゲーム、塗り絵、計算など)をしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者のできることや能力が発揮できる場を作り、利用者本位の支援に取り組んでいる。食事、掃除、洗濯、畑作業等、職員と一緒に生活がリハビリとなり、利用者の心身機能の維持向上につながる支援をしている。外出や地域交流が困難な状況ではあるが、幼稚園児と手紙のやりとりや季節の花やリース飾りを届けてもらう交流を続けている。面会制限のなかでオンラインや別室面会、電話連絡等、家族の意向も尊重しながら、利用者の日頃の様子を写真や動画で見てもらい、家族との関係も大切にした取り組みをしている。協力医と訪問看護師とも連携し、家族や職員が安心できる体制にしている。職員の得意分野を活かした業務分担と利用者が協力しあうことで、お互いが感謝の気持ちを持ち明るく楽しい雰囲気を提供している事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない			○	4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
		○	4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。〕

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社是・経営理念、皆で考えた標語を唱和し、ミーティングカンファなどで確認をしています。	理念を基にユニット毎に毎月目標を立て、利用者のできる力を活かした支援に取り組んでいる。ミーティングで目標が達成できているかを確認し、毎朝朝礼でも唱和し、理念の実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	例年だとニチイ祭り、幼稚園児さんとの交流などで地域と交流できるが、今年はコロナの関係で直接の交流は出来ません。幼稚園児さんとはお手紙を出し合い交流を図っています。	コロナ禍で散歩や行事などでの交流はできていない。幼稚園児がクリスマスと正月用のリースや鉢植えを届けてくれたり、手紙をやりとりしたりして交流している。認知症ケアの紹介やパンフレットを近隣へ配布して事業所の理解に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今年パンフレットを新しく作成し、認知症の施設としてご利用者様にいかに対応しているかをより分かりやすく理解していただけるようにしました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年は通年どおりの会議が行えず、書面での活動報告を行っています。施設長が委員さん宅に出向き、ホーム内の写真を見て頂きながら活動内容を見て頂き意見交換を行いました。	会議中止中は参加メンバー宅を訪問し、事業所の現状と取り組みを書面と写真で説明している。参加者から「ヒヤリハットや事故報告をする機会では」と意見が出ているが、その後報告がされていない。	参加者からの意見や要望を活かして、更にサービスの向上につながることを期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市のケアマネ会議にも積極的に参加をし、情報の共有と会議での内容を職員にミーティング時に報告しています。	事業所の取り組みや利用者の様子を冊子にして届け、加算制度などの相談を担当者に行っている。日常の連絡は電話やメールで行っている。市主催のオンライン研修に参加し、情報を得ている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を配置し、毎月支店に報告し、ミーティングカンファレンス時に職員にも確認を行っています。身体拘束に付いての研修会もしています。特に言葉による身体拘束に付いてカンファ・ミーティング時に話し合っています。	身体拘束しないための指針を整備し、ミーティング時に委員会を開催し、年2回は研修を実施し職員に確認及び周知している。言葉遣いや対応が適切でない時は、その場で注意したり、委員会で話し合ったりして拘束しないケアに取り組んでいる。外出したい人には、敷地内を一緒に散歩している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々朝礼時・カンファレンス時に虐待について話し合い、確認をしています。		

ニチイケアセンター西濃

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を開催し確認をしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	しっかりと説明をし、納得されてから申込をして頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様には年一回の満足度調査を行っています。ご家族様が見えた時は、管理者が対応し日常の状態や様子を話しをさせて頂いています。また状態の変化があったときは電話で報告をさせて頂いています。	家族の希望に合わせた面会が困難な為、日頃の利用者の写真を送付し、電話で意見や要望を聞いている。家族の希望で事務所からガラス戸越しに様子を見てもらう、オンラインや敷地内別室で時間制限しての面会等に応じている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員のきずきや提案を日常業務中、ミーティングで話し合いをし意見を反映させています。	管理者は日頃から職員の話を聞くように務め、得意分野を活かした職務にしている。家族プレゼントに箸置きを作成したり、眠剤の服用量を医師と相談し減量から不要にしたりと職員の意見を取り入れている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	研修会のパンフレットは事務所に掲示、スタッフに呼びかけています。キャリアアップ・資格を勧めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会の参加は何時でも参加できるようにシフト変更も出来る様にしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ネットワークを利用、勉強会には積極的に参加しています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	全スタッフが同じ目線・笑顔・傾聴を心がけています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の要望をしっかりと、傾聴し納得を頂いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	過剰な介護にならないよう、ご家族様と相談をして、決めさせて頂いています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	同じ目線で、ご利用者様がその人らしく過ごせるように心がけます。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	何時でも現状報告・状態説明を直ぐに電話連絡をしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナで面会が2月からできていませんが、ご家族様とはオンライン面会を行っています。また手紙のやりとりをしています。	馴染みの場所に出掛けたり、友人の訪問を受けたりは中断している。家族宛てに利用者の作品や手紙を送ったり、年賀状書きを手伝ったりして関係が途切れないようにしている。訪問していた友人から柿やミカンが届けられている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体調に合わせ、無理の無いように、レク・体操・お手伝いをして頂いています。共同で1つの作品を作ったり、テラスでのひなたぼっこし、お茶を楽しんでいます。		

ニチケアセンター西濃

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	解約後も相談を受けています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員はケアする中で、利用者様の思いを把握し、朝礼・ミーティングで話し合いをし、共有しています。	利用者に合わせた声かけをして、日々の会話から思いや意向を把握している。居室や事務所、夜間に個別に聞く場合もある。困難な人には、表情、仕草や行動、家族からの情報等から推測している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様・ご本人様と良く話をさせて頂いています。これまでの生活習慣、生活環境の把握に努めます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々状況把握をし、有する能力を発揮できるようにつとめます。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス・ミーティング時に話し合いと計画を見直しをしています。ご家族様・主治医の意見を取り入れ介護計画を作成しています。	本人や家族の要望、医師や訪問看護師の意見を入れて介護計画を作成している。ミーティングやカンファレンスでの話し合いや個別記録等でモニタリングしている。日常のケアや状態変化あれば、その都度見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	管理日誌・介護記録・全体の連絡帳・個々の連絡帳を活用し情報の共有をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナ禍で、ご家族様がご利用者様を受診に連れて行く事ができないので、代わりに職員が受診に連れていきます。		

ニチケアセンター西濃

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	幼稚園児との交流でお手紙を作り、やり取りをしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の定期往診・緊急時の往診をお願いしています。	家族の希望で入居時に24時間対応できる協力医に変更する人が多い。専門医やかかりつけ医を受診時は、コロナ禍で職員が同行し家族に報告している。歯科の訪問診療を利用している人もいる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携体制を取り週1回訪問看護師の状況観察・医療行為をして頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	サマリー・面会をしています、又退院後も連携室・病棟へも連絡をしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期には事業所の方針をご家族様に説明し、その時々状態に合わせて話し合い、医師の意見を踏まえ、職員・家族様と情報を共有しています。	入居時に事業所の方針を説明し、本人や家族の意向を確認している。状態に応じて医師から説明してもらい、話し合う機会を作っている。ミーティングで話し合い方針を共有し、家族の希望に合わせて一緒に過ごせるよう終末期や最期の看取りの支援をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルに従い、ミーティング時に研修会をしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練・消防訓練・避難誘導をしています。二カ月に1回の自主練習をしています。	消火、水害や地震等の避難訓練を、利用者も参加し毎月行っている。隣接する大家さんや住民に日頃から協力依頼の声かけをしている。水、米、乾パンや懐中電灯等は、消防署の意見を受け2階で備蓄している。夜間想定訓練ができていない。	年2回の避難訓練の内、1回は夜間を想定した訓練の実施をされたい。

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重する事、馴れ合いにならない様に、お名前で、さん付けで呼ばせて頂いています。利用者様に手伝いをして頂いた時は感謝の言葉をかけています。	一人ひとりに合わせた声かけで、言葉遣いや対応が馴れ合いにならないように配慮している。写真や動画を使用する時は家族の許可を得て、使用後は必ず削除し、個人情報には細心の注意を払っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎日、聞く様にしています、この頃は、ご利用者様からの希望が多くなりました、決まった方にならない様に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様一人ひとりに合わせた介護を全員でしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	鏡を見て、笑顔を作る事を話しています。コロナ禍で一時中止になっていた理美容も再開されました。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑で、作る物、野菜を聞いたり、食べたい物を聞いたりしています、ご利用者様と一緒に盛り付けをしています。食事に集中して頂きたい、個々に飲み込みがしっかりされているかを確認する為、職員と一緒に食事をとっていません。	畑で採れた野菜を使い、利用者の希望を聞いて献立を決めている。食事の準備、調理、盛り付け、後片付け等、利用者もエプロンと三角巾をして、できることを一緒に行っている。寿司、釜飯や鰻等のテイクアウトを利用したり、テラスで昼食やお茶したりして楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量・排泄確認を毎日チェック、介護記録に記入しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケア・就寝時には、必ず、入れ歯をつけ置きします。歯ブラシ・歯間ブラシを使用しています。		

ニチケアセンター西濃

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄時間の把握にて、トイレ誘導をし、オムツからの脱却に努めています。	時間や様子を見てトイレ誘導したり、状態により二人介助しても、トイレでの排泄を基本としている。紙パンツから布パンツ等に軽減できた事例がある。夜間もトイレ誘導して、排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルト・食物繊維の多い食材の利用、体操・歩行練習・水分量の支援をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週3回入浴回数の確保、曜日の指定は有りますが、本人様の希望が強い時はこだわらず臨機応変に入浴をして頂いています。	基本は週3回であるが、希望があれば毎日の入浴も可能である。気持ちよく入浴できるように一人ひとりで湯を入れ替えている。嫌がる人には時間をおき声かけの工夫をしている。音楽を流したり話をしたりして入浴を楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者様の対応になります、無理に寝かす事はしていません。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全スタッフが薬の情報を共有し、何の為なのかを把握し、服薬漏れが無いように二重チェックをしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	傾聴し出来るだけ添える様にしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナの感染予防のため、外出はしていませんが、天気の良い日はベランダでの日光浴、草むしり、畑作業などを楽しんで頂いています。	コロナ禍で家族との外出、散歩、買い物、花見やバス旅行等は中断している。テラスでの食事やお茶、日光浴、畑作業、花の水やり、洗濯物干しや駐車場内の散歩等で外気に触れる機会を多く作り、気分転換できるようにしている。	

ニチイケアセンター西濃

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣い帳にご家族様からお金を頂き、購入希望が有った時は、ご家族様に確認後職員が買い物に行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙はお小遣い帳から購入、電話はご家族様に確認後こちらからかけさせて頂く事も有ります。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	公共の場では、清潔を心がけ明るく心地よい空間になる様に心がけてます。	クリスマスリースを玄関に掛け、季節の折り紙や飾り物を置いている。ベランダに洗濯物を干し鉢植えを置いている。空気清浄機付き加湿器を置き、換気、室温や湿度に注意し、こまめな消毒で快適な環境や感染症予防に配慮している。利用者同士話し合える場所を作っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファ・TVを見たり、会話を楽しめたり、ゲーム・塗り絵をされて見えます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の思い通りにさせて頂いてます。お経も個人差が有るので、居室にてあげて頂いています。	使い慣れた物や好みの物を持参してもらい、茶筆筒、布団や時計を使用し、家族写真、旅行の土産物や自分の作品等を飾っている。畳に布団を敷いている人もある。新聞を読んだりお経をあげたりして自由に過ごしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全館バリアフリー・手すりを利用し、転倒予防・下肢筋力アップに強めています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2192100135		
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター西濃		
所在地	岐阜県大垣市橋町2丁目9番1		
自己評価作成日	令和2年11月9日	評価結果市町村受理日	令和3年1月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/21/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&i_gyosyoQd=2192100135-00&ServiceQd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市橋町1丁目3番地		
訪問調査日	令和2年12月16日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない			○	4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
		○	4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社是・経営理念、皆で考えた標語を唱和し、ミーティングカンファなどで確認をしています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	例年だとニチイ祭り、幼稚園児さんとの交流などで地域と交流できるが、今年はコロナの関係で直接の交流は出来ません。幼稚園児さんとはお手紙を出し合い交流を図っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今年パンフレットを新しく作成し、認知症の施設としてご利用様にいかに対応しているかをより分かりやすく理解していただけるようにしました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年は通年どおりの会議が行えず、書面での活動報告を行っています。施設長が委員さん宅に出向き、ホーム内の写真を見て頂きながら活動内容を見て頂き意見交換を行いました。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市のケアマネ会議にも積極的に参加をし、情報の共有と会議での内容を職員にミーティング時に報告しています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を配置し、毎月支店に報告し、ミーティングカンファレンス時に職員にも確認を行っています。身体拘束に付いての研修会もしています。特に言葉による身体拘束に付いてカンファ・ミーティング時に話し合っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々朝礼時・カンファレンス時に虐待について話し合い、確認をしています。		

ニチイケアセンター西濃

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を開催し確認をしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	しっかりと説明をし、納得されてから申込をして頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様には年一回の満足度調査を行っています。ご家族様が見えた時は、管理者が対応し日常の状態や様子を話しをさせて頂いてます。また状態の変化があったときは電話で報告をさせて頂いてます。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員のきずきや提案を日常業務中、ミーティングで話し合いをし意見を反映させています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	研修会のパンフレットは事務所に掲示、スタッフに呼びかけています。キャリアアップ・資格を勧めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会の参加は何時でも参加できるようにシフト変更も出来る様にしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ネットワークを利用、勉強会には積極的に参加しています。		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	全スタッフが同じ目線・笑顔・傾聴を心がけています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の要望をしっかりと、傾聴し納得を頂いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	過剰な介護にならないよう、ご家族様と相談をして、決めさせて頂いています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	同じ目線で、ご利用者様がその人らしく過ごせるように心がけます。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	何時でも現状報告・状態説明を直ぐに電話連絡をしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナで面会が2月からできていませんが、ご家族様とはオンライン面会を行っています。また手紙のやりとりをしています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体調に合わせ、無理の無いように、レク・体操・お手伝いをして頂いています。共同で1つの作品を作ったり、テラスでのひなたぼっこし、お茶を楽しんでいます。		

ニチイケアセンター西濃

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	解約後も相談を受けています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員はケアする中で、利用者様の思いを把握し、朝礼・ミーティングで話し合いをし、共有しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様・ご本人様と良く話をさせて頂いています。これまでの生活習慣、生活環境の把握に努めます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々状況把握をし、有する能力を発揮できるようにつとめます。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス・ミーティング時に話し合いと計画を見直しをしています。ご家族様・主治医の意見を取り入れ介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	管理日誌・介護記録・全体の連絡帳・個々の連絡帳を活用し情報の共有をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナ禍で、ご家族様がご利用者様を受診に連れて行く事ができないので、代わりに職員が受診に連れていきます。		

ニチイケアセンター西濃

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	幼稚園児との交流でお手紙を作り、やり取りをしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の定期往診・緊急時の往診をお願いします。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携体制を取り週1回訪問看護師の状況観察・医療行為をして頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	サマリー・面会をしています、又退院後も連携室・病棟へも連絡をしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期には事業所の方針をご家族様に説明し、その時々状態に合わせて話し合い、医師の意見を踏まえ、職員・家族様と情報を共有しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルに従い、ミーティング時に研修会をしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練・消防訓練・避難誘導をしています。二カ月に1回の自主練習をしています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重する事、馴れ合いにならない様に、お名前で、さん付けで呼ばせて頂いています。利用者様に手伝いをして頂いた時は感謝の言葉をかけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎日、聞く様にしています、この頃は、ご利用者様からの希望が多くなりました、決まった方にならない様に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様一人ひとりに合わせた介護を全員でしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	鏡を見て、笑顔を作る事を話しています。コロナ禍で一時中止になっていた理美容も再開されました。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑で、作る物、野菜を聞いたり、食べたい物を聞いたりしています、ご利用者様と一緒に盛り付けをしています。食事に集中して頂きたい、個々に飲み込みがしっかりされているかを確認する為、職員と一緒に食事をとっていません。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量・排泄確認を毎日チェック、介護記録に記入しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケア・就寝時には、必ず、入れ歯をつけ置きします。歯ブラシ・歯間ブラシを使用しています。		

ニチイケアセンター西濃

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄時間の把握にて、トイレ誘導をし、オムツからの脱却に努めています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルト・食物繊維の多い食材の利用、体操・歩行練習・水分量の支援をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週3回入浴回数の確保、曜日の指定は有りますが、本人様の希望が強い時はこだわらず臨機応変に入浴をして頂いています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者様の対応になります、無理に寝かす事はしていません。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全スタッフが薬の情報を共有し、何の為なのかを把握し、服薬漏れが無いように二重チェックをしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	傾聴し出来るだけ添える様にしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナの感染予防のため、外出はしていませんが、天気の良い日はベランダでの日光浴、草むしり、畑作業などを楽しんで頂いています。		

ニチケアセンター西濃

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣い帳にご家族様からお金を頂き、購入希望が有った時は、ご家族様に確認後職員が買い物に行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙はお小遣い帳から購入、電話はご家族様に確認後こちらからかけさせて頂く事も有ります。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	公共の場では、清潔を心がけ明るく心地よい空間になる様に心がけてます。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファ・TVを見たり、会話を楽しめたり、ゲーム・塗り絵をされて見えます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の思い通りにさせて頂いています。お経も個人差が有るので、居室にてあげて頂いています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全館バリアフリー・手すりを利用し、転倒予防・下肢筋力アップに強めています。		